

令和8年度（2026年度）事業計画書

自 令和8年（2026年）4月1日
至 令和9年（2027年）3月31日

PMF2026 概要

- 1 開催期間 2026年7月7日（火）～7月27日（月） 21日間
- 2 開催地 札幌市、苫小牧市、江別市、奈井江町、小樽市、東京
- 3 公演数 約30公演
- 4 参加アーティスト
首席指揮者（プログラムB、コンダクティング・アカデミー） デイヴィッド・ロバートソン
客演指揮者（プログラムA） ライアン・バンクロフト
指揮者（ホストシティ、リンクアップ） アンドレアス・オッテンザマー

PMFオーケストラ共演ソリスト

調整中＜プログラムA＞
調整中＜プログラムB＞

ゲストアーティスト

ライナー・キュッヒル（ヴァイオリン）＜ライナー・キュッヒル PMFアンサンブル演奏会＞
加藤 洋之（ピアノ）＜ライナー・キュッヒル PMFアンサンブル演奏会＞
九嶋 香奈枝（司会／ソプラノ）＜リンクアップ・コンサート＞
穴澤 彩佳（ソプラノ）＜リンクアップ・コンサート＞
岡元 敦司（バリトン）＜リンクアップ・コンサート＞ ほか

オーケストラ

PMFオーケストラ
PMFホームカミング・オーケストラ
札幌交響楽団（PMFホストシティ・オーケストラ）

教授陣 (*はPMF初参加を表す/☆はPMF修了生を表す)

◆PMFヨーロッパ (会期前半 - プログラムA)

ヴァイオリン	*ヤメン・サーデイ (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター)
ヴァイオリン	ダニエル・フロシャウアー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
ヴィオラ	*バルナバ・ポプラフスキ (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
チェロ	ペーテル・ソモダリ (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
コントラバス	ミヒャエル・ブラーデラー (ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団)
フルート	ステファン・ラグナー・ホスクルドソン (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席奏者)
オーボエ	ジョナサン・ケリー (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
クラリネット	アレクサンダー・バーダー (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ファゴット	シュテファン・シュヴァイゲルト (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
ホルン	サラ・ウィリス (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
トランペット	タマーシュ・ヴェレンツェイ (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
トロンボーン	イエスパー・ブスク・ソレンセン (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)
パーカッション	フランツ・シンドルベック (ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)

◆PMFアメリカ (会期後半 - プログラムB)

ヴァイオリン	ヌリット・バー・ジョセフ (ワシントン・ナショナル交響楽団)
ヴァイオリン	*ジェレミー・ブラック (ピッツバーグ交響楽団)
ヴィオラ	ダニエル・フォスター (ワシントン・ナショナル交響楽団)
チェロ	*ウェイ・ユー (デトロイト交響楽団) ☆PMF2003
コントラバス	アレクサンダー・ハンナ (シカゴ交響楽団)
フルート	デニス・ブリアコフ (ロサンゼルス・フィルハーモニック) ☆PMF2003
オーボエ	スティーヴン・ウィリアムソン (シカゴ交響楽団)
クラリネット	アントン・リスト (メトロポリタン歌劇場管弦楽団) ☆PMF2012
ファゴット	ダニエル・マツカワ (フィラデルフィア管弦楽団) ☆PMF1992, 1993, 1994
ホルン	アンドリュー・ベイン (ロサンゼルス・フィルハーモニック)
トランペット	マーク J. イノウエ (サンフランシスコ交響楽団)
トロンボーン	ティモシー・ヒギンズ (シカゴ交響楽団)
ティンパニ	ジョセフ・ペレイラ (ロサンゼルス・フィルハーモニック) ☆PMF1995

◆PMFピアニスト

佐久間 晃子
南部 麻里

アカデミー教育

1 PMF 2026 オーディション

インターネットのオーディション専用ポータルサイトを利用したレコーディングオーディションを実施した。

- ・応募期間：令和7年10月31日（金）～令和8年1月14日（水）※日本時間正午
- ・応募状況：70カ国・地域 1,466名（前年度実績 70カ国・地域 1,344名）

2 PMF 2026 アカデミー教育

オーケストラ・アカデミー（89名）

PMF 2026では、PMF創設者レナード・バーンスタインの基本的理念であるオーケストラ・アカデミー教育を引き続き実施し、主に2つのオーケストラプログラム（A、B）の教育を行う。プログラムAでは客演指揮者ライアン・バンクロフトとPMFヨーロッパ、プログラムBでは首席指揮者デイヴィッド・ロバートソンとPMFアメリカの教授陣が指導にあたり、東京公演を含め8回のオーケストラ演奏会のほか、室内楽演奏会等に出演し、教育の成果を披露する。

コンダクティング・アカデミー（3名）

首席指揮者であるデイヴィッド・ロバートソンが、PMFオーケストラ演奏会プログラムB前半の曲を中心に、指揮法や楽曲解釈を指導する。札幌コンサートホールKitaraでの演奏会（7月19日）でPMFオーケストラと共演し、教育の成果を発表する。

なお、指揮者を志す音楽大学生及び大学院生を対象に、コンダクティング・アカデミーのリハーサル、ゲネプロ、本公演を無償で聴講できる機会を提供する。

3 PMF 2027 オーディション

令和8年11月頃受付開始予定。

PMF 2026 演奏会

PMF 2026 の主なコンサートスケジュールは、次のとおり予定している。

- ・ 7月7日 (火) PMF 2026 オープニング・ナイト (札幌コンサートホール *Kitara*)
バーンスタイン：「キャンディード」序曲 ほか
- ・ 7月9日 (木) PMF ウィーン演奏会 (札幌コンサートホール *Kitara*)
- ・ 7月10日 (金) PMF ベルリン演奏会 (札幌コンサートホール *Kitara*)
- ・ 7月11日 (土) PMF オーケストラ 苫小牧公演 (苫小牧市民文化ホール)
- ・ 7月11日 (土) PMF クラシック LABO ♪ f o r K I D S
(札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール)
- ・ 7月12日 (日) PMF オーケストラ演奏会<プログラムA> (札幌コンサートホール *Kitara*)
ストラヴィンスキー：ペトルーシュカ ほか
- ・ 7月13日 (月) ライナー・キュッヒル PMF アンサンブル演奏会
(札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール)
- ・ 7月15日 (水) PMF リンクアップ・コンサート (札幌コンサートホール *Kitara*)
- ・ 7月15日 (水) PMF アンサンブル清田区公演 (札幌市清田区民センター)
- ・ 7月16日 (木) PMF 赤れんがコンサート (赤れんがホール)
- ・ 7月16日 (木) PMF アンサンブル小樽公演 (旧三井銀行小樽支店)
- ・ 7月17日 (金) 市民ロビーコンサート (札幌市役所)
- ・ 7月17日 (金) PMF 豊平館コンサート (札幌市豊平館)
- ・ 7月19日 (日) PMF ホストシティ・オーケストラ演奏会 (札幌コンサートホール *Kitara*)
- ・ 7月19日 (日) PMF オーケストラ演奏会～コンダクティング・アカデミー～
(札幌コンサートホール *Kitara*)
バルトーク：舞踏組曲 ほか
- ・ 7月20日 (月祝) PMF アンサンブル奈井江公演 (奈井江町文化ホール)
- ・ 7月20日 (月祝) PMF スペシャル・コンサート～上田文雄氏に感謝を込めて～
(札幌コンサートホール *Kitara*)
- ・ 7月21日 (火) PMF アンサンブル江別公演 (江別市民文化ホール)
- ・ 7月22日 (水) PMF アンサンブル演奏会 (札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール)
- ・ 7月23日 (木) PMF アメリカ演奏会 (札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール)
- ・ 7月25日 (土) ピクニックコンサート<プログラムBほか> (札幌芸術の森・野外ステージ)
プロコフィエフ：交響曲 第5番 変ロ長調 作品100 ほか
- ・ 7月26日 (日) PMF GALAコンサート<プログラムBほか> (札幌コンサートホール *Kitara*)
プロコフィエフ：交響曲 第5番 変ロ長調 作品100 ほか
- ・ 7月27日 (月) PMF オーケストラ東京公演<プログラムB> (サントリーホール)
プロコフィエフ：交響曲 第5番 変ロ長調 作品100 ほか

音楽普及のための取り組み

一般の人々が身近にクラシック音楽に触れることができる機会を提供することで、クラシック音楽の普及を図る。

PMF 2026 では、リンクアップ・コンサートを継続開催するほか、より幅広い世代の市民が音楽をより身近に楽しむことができるよう「クラシックLABO♪」の企画内容を大幅に刷新し、コンサートを観賞しない方々も音楽や楽器などに親しむことのできる機会を創出する。このほか、地元大学の音楽専攻生を対象としたマスタークラスやユース・ウイング席の継続など、若い世代へのクラシック音楽の普及、未来を担う人材の育成に向けた取組を進めるとともに、ミナミナコンサートやストリートピアノの設置など、音楽の楽しさをより多くの人に届ける場を広げていく。

1 PMFリンクアップ・コンサート

アメリカ・ニューヨークのカーネギーホールとの連携により、PMF 2013 において日本で初めて実施した、小学生向けの音楽教育プログラム。子どもたちが歌やリコーダー演奏でPMFオーケストラと共演する機会を設け、これまでにない一流の音楽との出会いの場を提供する。札幌市内の小学6年生児童約800名が参加予定。

2 PMFミナミナコンサート

普段コンサートホールなどに足を運ぶことが難しい方々も音楽を楽しみ、身近に親しんでいただけるよう、PMF教授陣やアカデミー生が特別支援学校等に出向きコンサートを実施する。

3 オープンリハーサル

札幌コンサートホールKitaraで行われるPMFオーケストラのゲネプロ（本番前の全体練習）やリハーサルの指導風景を無料で公開する。定員は1回につき400名。

4 PMFクラシックLABO♪ for KIDS

昨年に引き続き、東京文化会館が定期的で開催しているミュージック・ワークショップとの連携で、小さな子供が親子で参加できる音楽の楽しさを体験する音楽講座を実施する。PMF 2026 ではさらに、参加型コンサートだけでなく、楽器体験やプラネタリウムなど子どもたちが音楽の世界を存分に楽しめる特別なプログラムを開催する。

5 オーケストラ訪問リハーサル

PMF教授陣が札幌市内及び近郊の学生オーケストラ等を訪問し、最高レベルの教育を提供する。

6 PMF公開マスタークラス

PMF教授陣がアカデミー生を指導する様子を一般に公開するほか、PMF教授陣が北海道で音楽を学ぶ専攻生を楽器・編成別に直接指導する講座を実施する。

7 ユース・ウイング席・U25 割引の設定

クラシック音楽を未来につなげるため、小学生から25歳（2001年生まれ）までの若い世代に、札幌コンサートホールKitaraで開催する一部の公演において、オーケストラを一望できる「ユース・ウイング席」を無料で提供する。

また、U25割引（ピクニックコンサートは芝生自由席無料）も継続し、ユース世代がよりクラシック音楽に接しやすい環境を提供する。

8 学校DEカルチャー

札幌市が主催するプロジェクト「学校DEカルチャー」の一環として、市内の小学校にPMF修了生を派遣し、室内楽の演奏に直に触れる機会を提供するとともに、各楽器の特徴や演奏曲目についてのトーク、児童の指揮体験など、音楽の楽しさを伝えるプログラムを実施する。

9 修了生によるミニ・コンサート

会期外においてクラシック音楽の普及やPMF事業の認知度を高めるため、メインスポンサー等の協力も得ながらミニ・コンサートを開催する。また、札幌市内のイベントや新施設、観光施設等でのミニ・コンサートも開催する。

10 中高生向け音楽講座（エデュケーショナルプログラム）

PMFに関心を持ってもらい、将来的な参加につなげることを目的として、修了生が中学・高校へ出向き、演奏会を行うほか、進路や音楽との向き合い方などについてアドバイスを行う音楽講座を実施する。

11 ストリートピアノ

(株)ヤマハミュージックジャパンの協力の下、市内で最も人通りが多く繁華な札幌駅～大通間にストリートピアノを設置する。